

事務事業	4020	広報紙発行事業	担当課	まちの魅力推進課	担当係	まちの魅力づくり係
------	------	---------	-----	----------	-----	-----------

計後 画期 体計 系画	施策	18	町民と行政がともに課題解決に取り組むまちをつくる	予 算 科 目	会計	1	一般会計
	取り組み方針	510	まちづくりへの参画を促進するための情報提供と情報共有を進める		款	2	総務費
					項	1	総務管理費
					目	2	文書広報費

法令根拠条例等		個別計画	
---------	--	------	--

実施期間	<input type="checkbox"/> 29年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	S43 年度より開始	<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)	年度～	年度
------	---------------------------------	---	------------	------------------------------------	-----	----

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください)		<input type="checkbox"/>	2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる)	
町からのお知らせや町の行事、施策、出来事などを町民や町内企業などへ提供するため、毎月1日に「広報しめ」(24ページ)を発行している。各世帯へは町内会を通して、企業などへは郵送で配布している。報道機関へは情報提供として、近隣市町村や県へは情報交換のため郵送している。			印刷製本費 9,133 千円	
【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください)		主 な 事 業 費 の 内 訳	郵便料 903 千円	
・各課や他機関、町民などからの掲載依頼原稿の編集、取材に基づく記事の作成			カメラ購入費 300 千円	
・校正			折込手数料 183 千円	
・配達、郵送			消耗品費 127 千円	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

事務事業の目的	① 手段(主な活動)	29年度に行った主な活動(※箇条書きで記入) 毎月1回の広報発行
	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	町民、町内企業と施設(病院・幼稚園等)、報道機関と近隣公共団体等
	③ 意図(この事業で、対象をどのような状態にしたいのか)	町が発信する町政に関する情報を入手してもらおう。

④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		指標数値			
名称	単位	28年度	29年度	30年度	
ア 発行回数	回	12	12	12 (見込)	
イ 発行部数(年間作成部数)	部	237,717	241,072	244,500 (見込)	
ウ				(見込)	
⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)		指標数値			
名称	単位	28年度	29年度	30年度	
ア 世帯数	世帯	19,073	19,350	19,444 (見込)	
イ 町内企業と施設等数	社	845	761	761 (見込)	
ウ 報道機関と近隣公共団体等数	団体	61	59	59 (見込)	
⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		指標数値			
名称	単位	28年度	29年度	30年度	
ア 必要とするまちの情報が入手できていると感じる町民の割合	%	目標	71.4	71.4	71.4
		実績	67.1	67.8	
イ 必要とするまちの情報が入手できていると答えた町民の中で広報紙から情報を入手している町民の割合	%	目標	97.3	97.3	97.3
		実績	95.1	93.9	
ウ		目標			
		実績			
エ		目標			
		実績			
オ		目標			
		実績			

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(千円)		28年度 (決算値)	29年度 (当初予算)	29年度 (決算値)	30年度 (当初予算)	31年度 (計画)	32年度 (計画)	
	経費	国・県支出金、地方債等							
		受益者負担等	1,142	1,591	1,740	1,617	1,617	1,617	
		一般財源	8,543	9,198	8,941	9,044	9,044	9,044	
		合計(A)	9,685	10,789	10,681	10,661	10,661	10,661	
		(内臨時・嘱託職員人件費)							
	正職員人件費[按分](B)	8,368	10,846	8,981	9,316				
トータルコスト(A)+(B)	18,053	21,635	19,662	19,977	10,661	10,661			

事務事業評価表(事業実施年度:平成29年度)

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか?いつ頃どんな経緯で開始されましたか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか?	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか?(誰からの意見か明記)
昭和43年4月、行政情報を提供し、町政に対する理解を得るための手段として発行を始めた。	現在、町の情報を得る手段としては「広報紙から」が9割以上を占めている。掲載内容はほぼ町からのお知らせとなっている。各課からの掲載依頼だけでなく、他機関や町民団体からなど、掲載依頼が年々増えており、ページが不足する状態が多くなっている。	他機関からの掲載依頼や、町民団体からの催しやサークル情報等の掲載依頼が増えてきた。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		29年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成29年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 目的の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	委託事業者の変更と紙面の刷新を行う。現状の「依頼記事はほぼ掲載する」という体制を見直ししていくことで、よりすっきりとした紙面になり、必要な特集なども組むことができると思われる。	<input checked="" type="checkbox"/> 記述どおり実施できた (コメント必要ありません) <input type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	

2 評価(SEE)及び全体総括の部 * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価

	評価の理由
目的妥当性評価 ① 上位施策への貢献度は大きいですか? ※総合計画を参照してください <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→)	住民と行政が共に創るまちとなるには、情報の共有は必須である。行政情報を伝える手段としてホームページもあるが、インターネットを利用する人で、積極的に知ろうとする人に限られる。全町民に周知する手段としては、全世帯に配布される広報紙以外にはない。
② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか? (事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか?) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	町民に町が発信する町政に関する情報を入手してもらい、行政と情報を共有することが目的であり適切である。
有効性評価 ③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がある (理由→) <input type="checkbox"/> 成果向上余地がない (理由→)	発行時期に合わせて報告内容だけでなく、時事に即した、なるべく話題性の高いものを掲載することにより、住民の関心を増やしていく。より見やすくわかりやすい紙面への工夫をしていく。
評価 ④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	定期的に全世帯へ情報を提供する手段は他になく、インターネットの普及が進む中でも紙媒体は必要不可欠である。
効率性評価 ⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか?(広域連携や民間委託等の導入など) <input checked="" type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input type="checkbox"/> ない(理由→)	簡易的な広報作成マニュアルを作成・回覧するなどし、各課で統一した原稿を提出してもらうことで、編集時間にかかる時間を減らす。

(2) 29年度を振り返って(全体総括・反省点)

今年度は広報紙制作発行業務のプロポーザルを実施し、紙面のリニューアルを行った。仕様やデザイン、ページ構成を全体的に見直し、特集を組むようにした。また、作業を業者により委託するようになったので、制作時間の短縮もできた。

3 今後の方向性(30年度以降の計画と31年度予算への反映)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可) <input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→ <input type="checkbox"/> 事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	(2) 平成30年度以降に取り組む内容と期待される効果 より多くの人が広報を見ていただくように特集記事を載せるなど工夫していく。また、広報紙からホームページへ誘導するような紙面づくりを行い、若い世代でも効率的にまちの情報を入手できるようにしていく。
---	--